

令和5年度 国際探究Ⅱ シラバス

名称	国際探究Ⅰ（2学年）	代替科目	総合的な探究の時間
対象	2学年国際英語科	指導体制	国語、英語、地歴、数学、理科の教員6名によるTT
学習目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的かつ国際的な視点での学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、課題を発見し、21世紀をたくましく切り拓くリーダーとなるための資質・能力を育成する。		
評価方法	ルーブリック、ポートフォリオ、活動観察等		
評価規準			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解しようとしている。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。	

学期	月	実施内容	配当時間	内容	進度
1 学期	4月	・オリエンテーション・テーマ検討 ・テーマ検討会① ・テーマ検討会②	3	・授業の進め方、探究活動について、探究活動上のマナー、グループ編成	
	5月	・テーマ検討③ ・テーマ検討会（20日）	3	・テーマ検討会の準備（ポスターの準備等） ・琉大教員を招いてテーマについてと研究計画に関して発表、検討会を振り返り、夏休みの研究活動について計画（2時間設定）	
	6月	・研究活動① ・研究活動②	2		
	7月	・研究活動③ ・研究活動④ ・研究活動⑤ ・研究活動⑥	4		
2 学期	8月	・夏休み中の研究活動 ・研究活動⑦	1		
	9月	・研究活動⑧ ・研究活動⑨ ・研究活動⑩	3	・中間発表会の準備（ポスターの作成等）	
	10月	・中間発表会（ポスター発表） ・研究活動⑪ ・研究活動⑫ ・研究活動⑬	5	・琉大教員を招いてテーマについてと研究計画に関して発表、検討会を振り返り、夏休みの研究活動について計画（2時間設定）	
	11月	・台湾研修(8日～12日) ・研究活動⑭ ・研究活動⑮	38	・台湾研修とその事前学習を通して海外留学生との交流、現地（主に台北市）周辺の地域調査を行う	
	12月	・研究活動⑯ ・琉大での代表者発表会（沖縄未来創世社会シンポジウム 2023） ・研究活動⑰ ・研究活動⑱	3	・代表8グループ選定 ・琉大教員、1年国英科、2年理数科参加（2時間設定） ※1月のSSH発表会の代表者を定める	
3 学期	1月	・研究活動⑲ ・研究活動⑳	2	・代表8グループ選定 ・SSH研究発表会の準備	
	2月	・SSH研究発表会(1日) ・研究活動㉑	7	・研究データの整理	
	3月	・研究活動㉒	1	・研究データの整理	

72

4. 到達目標自己評価表

到達目標を達成できたか。 A (80%以上) B (65%以上) C (40%以上) D (40%以下)	次学期（次年度）に向けての課題
自己評価	
1学期	
2学期	
3学期	